

みんなの 町議会

第18号

2009年4月

 神石高原町



町立病院（4月1日開院）

はじめての積極型予算（平成21年度当初予算）	2
定額給付金など追加（補正予算）	5
町政どう舵をとる（総括質問）	6
こども医療費が無料化に（条例制定・改正）	13
ありゃどうなった？（追跡記事）	15
元気なグループ（里山会）・クイズ	16

スタート

設計・調査費に1億370万円

新たに挑戦

定住・
産業振興

総額：
1億6,602万円

子育て
支援

総額：
1億4,229万円

安心・安全

総額：
4億6,206万円

3月定例会は、3日から19日まで開かれ、平成21年度当初予算、20年度各会計補正予算、神石高原町こども医療費支給条例の制定など107議案と議員提出の発議2件等109案件を審議しました。

議員発議1件を除く108議案を原案のとおり可決しました。

- 安心・安全
- 「源流の里」維持再生事業 1,485万円
 - CATV事業 調査・設計 1億370万円
 - 地域新エネルギービジョン策定 940万円
 - 町営バス運行経費 2,711万円
 - 路線タクシー運行経費 2,272万円
 - 油木消防自動車購入 2,061万円
 - AED町内小学校配備 85万円
 - 町立病院特別会計補助 1億8,319万円

- 子育て支援
- 放課後児童クラブ拡大 782万円
 - 保育所耐震診断 546万円
 - 子ども予防接種補助 128万円
 - 子ども医療費無料化 900万円
 - 油木高校野球部支援 120万円
 - さんわ総合センター楽屋 800万円
 - 図書館システム整備 300万円
 - スクールバス運行経費 6,350万円

- 定住・産業振興
- 「夢」創造委員会設置 100万円
 - 集落法人育成加速 1,200万円
 - 和牛の里整備 1億2,204万円
 - 新規就農者支援 600万円
 - 井関総合開発 500万円



町立病院開院式

投資的経費

15.9%増の積極的予算

合併後初めての前年度を上回る積極型予算となりました。経済情勢の悪化に緊急対応するための国からの交付金を活用した、緊急経済・雇用対策や少子高齢化・定住対策などを考えた予算編成となっています。新規事業は、「安心・安全」「子育て支援」「定住・産業振興」の3つを柱として重点配分されました。



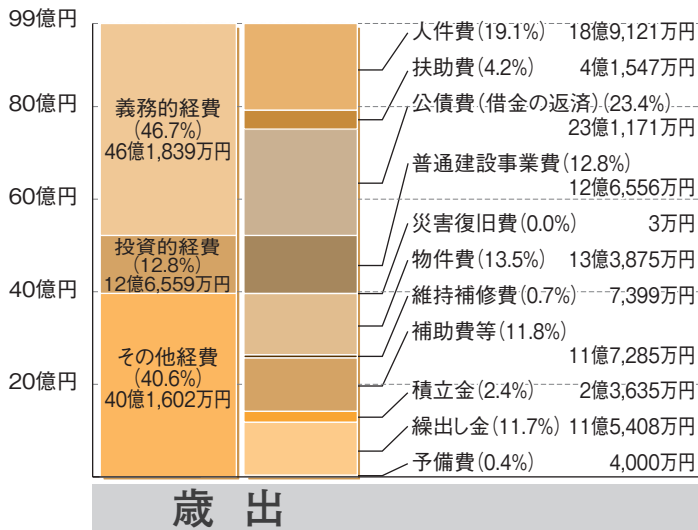
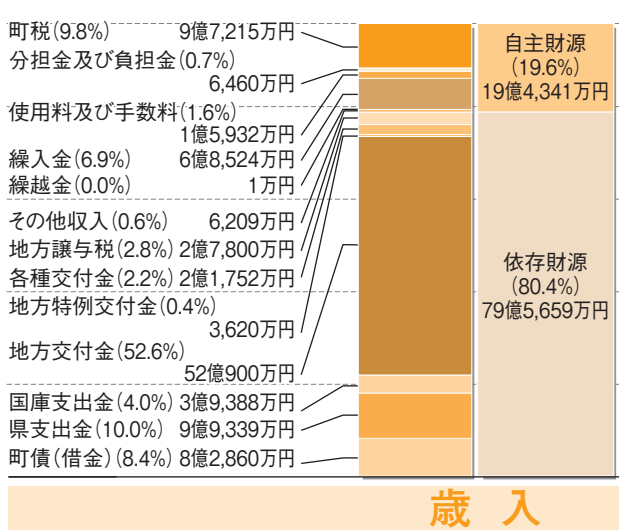
神石雪どけマラソン
(平成21年3月8日開催)

スタート

平成21年度一般会計予算
(前年対比2%増)

99億円

平成21年度一般会計当初予算



平成21年度
当初予算案

全会一致

可決

危険されます。

が、財政健全化への取り組みが

末で6億円程度の見込みであ

り、財政健全化への取り組みが

編成されました。

当初予算は増額しています

が、財政調整基金残高は21年度

末で6億円程度の見込みであ

り、財政健全化への取り組みが

危険されます。

一般会計の総額は99億円とな

り、前年度に比べて額にして

1億9,000万円、率にして

2.0%の増加で、合併後初め

て当初予算が前年を上回った積

極型予算案は評価します。

人と自然が輝く町の実現に向

けて、「安心・安全」「子育て支援」

「定住・産業振興」のキーワード

を中心に多くの新規拡大事業を

編成されました。

当初予算は増額しています

が、財政調整基金残高は21年度

末で6億円程度の見込みであ

り、財政健全化への取り組みが

危険されます。

平成21年度当初予算

賛成討論

総務文教常任委員会 委員長 村上 克朗

町長をはじめ執行機関におか

れては、以下の意見を十分に考

慮され、適切な予算運営に邁進

されることを要望し賛成いたし

ます。

①新規事業の実施計画を充実さ

せ、事業効果を早期に上げるよ

う努力すること。

②歳入に見合う歳出の抑制を図

ること。

③地域活性化・生活対策交付金

対応の明許繰越事業は、工程表

に沿って確実に実施すること。

④予算案審議前に外部へ情報提

供の感がある。細心の注意を払

うこと。

平成21年度特別会計・病院事業会計当初予算

単位：万円

会計名		予算額	
特別会計	国民健康保険特別会計	11億5,230万円	
	内訳	事業勘定	11億4,650万円
		診療施設勘定	580万円
	後期高齢者医療特別会計	3億6,000万円	
	老人保健特別会計	700万円	
	介護保険特別会計	17億8,250万円	
	内訳	保険事業勘定	17億6,800万円
		介護サービス事業勘定	1,450万円
	簡易水道事業特別会計	5億6,830万円	
	飲料水供給施設事業特別会計	3,530万円	
	農業集落排水事業特別会計	2億3,060万円	
	分集育林事業特別会計	20万円	
	総合開発事業特別会計	50万円	
	特別会計計	41億3,670万円	
病院事業会計	2億6,550万円		
合計	44億220万円		

予算に対する 少し細かな質問（予算審議）

総務課

寄定議員 合併5周年表彰事業は誰を表彰。

総務課長 町の表彰規定による善行表彰。

佐伯議員 自主防災の組織率と今後の対策は。総務課長 進捗状況に応じた支援を行なう。

企画課

村上議員 スクールバスの屋根付き車庫建設に補助を。

企画課長 委託先の管理となっている。

橋本議員 スクールバスの一般との混乗は。

企画課長 児童生徒を優先する。

小川議員 ふるさとふれあい事業予算は。

企画課長 基金は各地区に均等配分。繰越予算は有効に使用して欲しい。

片山議員 男女共同参画事業の指導は。

企画課長 ジェンダーフ

リーでなく性別を尊重して行なう。

環境衛生課

佐伯議員 小型合併槽の普及を図れ。

環境衛生課長 町内処理は集排も含め63%である。普及に努める。

福祉課

小川議員 開催方式が異なる敬老会の統一は。

福祉課長 地域差があり統一は難しい。

松本議員 保育料の3人目無料化を

福祉課長 3人目は、10分の1に軽減している。町長 早急に対応する。

保健課

松本議員 介護保険料の改定が介護者賃金に

どうつながるか。保健課長 3%の処理改善である。町は指導を考

えていない。

佐伯議員 メタボ対策はどうしているのか。

保健課長 意識啓発は出来ており、総合検診率は41・5%で県内トップである。

産業課

丸山議員 ひろしまの森づくり事業は何故縮

小したのか。産業課長 施業委託が350haから200haの割当減となった。民間委託も可能なので今後検討する。

木野山議員 地域営農対策で先進地視察補助を復活せよ。

産業課長 要望を精査し検討する。

藤田議員 新規就業者補助の法人雇用はどう

する。

産業課長 役員関係者は除き、農業未体験者を対象としている。従業員として就農する人も認める。

瀬尾議員 有害鳥獣対策でサル被害対策を町

営で出来ないか。産業課長 平成20年は7

頭の駆除だった。自衛に頼らざるを得ない。

建設課

藤田議員 県道の町への委託路線について改良中止路線は。

建設課長 三和油木線は平成21年度1500万円を予定。中止はない。

教育課

横尾議員 スクールバス運行の安全対策・安全教育などを実施せよ。

教育課長 十分な安全対策を講じたい。

橋本議員 通学路の整備はどうしているか。

教育課長 それぞれの学区内の通学路を把握し整備に努める。

寄定議員 ブックス

ターゲット・なぜ図書券か。

教育課長 乳児健診時に図書券贈呈を計画。絵本贈呈を検討する。

小林議員 学校給食、

地産地消への取組は。教育課長 地元産物に興味を持ち地元産物振興につながるよう実施する。

病院対策室

小川議員 1億円貸付け利率の設定基準は。

病院室長 独立行政法人福祉医療機構の貸付利率をもとに年2・2%とした。

木野山議員 購入資産の減価償却負担は町が指定管理者か。

病院室長 基本的には指

定管理者だが両者で協議し決定する。

片山議員 職員確保対策事業867万円の内訳は。

病院室長 陽正会を通じて手当てとして支給する。県派遣の常勤医師5名

分、年額300万円と看護師給与激変緩和措置、年額567万円。



病院対策室と財政係

定額給付金に

1億9,800万円!

平成20年度補正予算

4月末給付開始へ

1月補正(臨時議会・1月27日)

○一般会計
 歳入歳出補正予算額 4億9,083万1千円
 歳入歳出予算総額 107億3,654万9千円

費目	補正予算額	主な理由
総務費	1億2,473万1千円	井関定住団地 1億2,197万1千円, 他
衛生費	2億2,110万円	町立病院システム更新5,660万円・改修工事5,000万円・CT購入3,000万円, 他
諸支出金	1億4,500万円	人と自然が輝く事業基金積み立て経費1億4,500万円

○特別会計

費目	補正予算額	主な理由
簡易水道事業特別会計	8,450万円	井関定住団地給水工事, 高蓋・小島間給水管接続工事8,700万円, 他

1・3月補正予算

単位: 万円(四捨五入)

会計名	1月補正額	3月補正額	補正後の額	
一般会計	4億9,084万円	6億9,720万円	114億3,375万円	
特別会計	国民健康保険特別会計	△630万円	12億1,041万円	
	後期高齢者医療特別会計	△1,385万円	3億2,935万円	
	老人保健特別会計		3億5,887万円	
	介護保険特別会計	4,021万円	17億3,204万円	
	簡易水道事業特別会計	8,450万円	△345万円	5億6,180万円
	飲料水供給施設事業特別会計		△334万円	4,088万円
	農業集落排水事業特別会計			2億3,844万円
	総合開発事業特別会計		1億6,550万円	1億6,550万円
	分収育林事業特別会計			10万円
計	8,450万円	1億7,877万円	46億3,739万円	
合計	5億7,534万円	8億7,597万円	160億7,114万円	

3月補正(定例会・3月3日)

3月補正の主なものは、国からの地域活性化・生活対策臨時交付金の交付により財源の振替を行なった井関地区総合開発整備事業1億6,801万円、平成21年度から新事業に変更になる生活交通機関確保事業1,305万円、無投票となった町長選挙執行経費などが減額補正されました。総合開発事業特別会計への繰出し経費1億6,550万円、定額給付金給付経費1億9,812万円、長期債元金繰上げ償還経費6億2,430万円などが追加補正されています。

○一般会計

歳入歳出補正予算額 6億9,720万4千円 歳入歳出予算総額 114億3,375万3千円

費目	補正予算額	主な内容
総務費	1億5,983万9千円	総合開発事業特別会計繰出経費1億6,550万円, 定額給付金給付経費1億9,812万4千円, 他
民生費	△1,337万1千円	後期高齢者特会繰り出し経費△1,972万7千円, 児童手当給付事業△358万円, 生活保護扶助経費△600万円, 他 老人保健特会繰り出し経費3,600万円, 介護保険特会繰出経費121万8千円, 子育て応援特別手当支給経費462万1千円他
衛生費	△2,394万5千円	小型合併処理浄化槽設置補助事業△1,065万7千円, 簡易水道特会繰出経費△165万6千円, 他 飲料水供給事業特会繰出経費398万7千円, 飲料水確保対策事業50万円, やすらぎ苑施設経費99万2千円, 他
農林水産費	△3,312万3千円	県営中山間地域総合整備事業△685万6千円, 林業再構築プロジェクト事業△960万円, 小規模崩壊地復旧事業△219万円, ひろしまの森事業△120万円, 他 農村地域総合推進事業360万円
商工費	59万6千円	ロングステイ型観光促進事業△39万5千円, 自然公園等管理運営経費140万
土木費	△1,166万8千円	道路橋りょう一般管理経費△45万1千円, 道路台帳整備経費△350万円, 県道整備事業負担経費△274万円, 県道整備移譲事業△499万9千円, 他
消防費	△961万8千円	常備消防経費△513万9千円, 非常備消防一般管理経費△436万9千円, 他
教育費	△1,110万6千円	小・中学校耐震調査経費△235万円, 中学校教育振興経費△305万1千円, 他 共同調理場管理運営経費40万円, 他
公債費	6億1,479万9千円	長期債元金繰上げ償還経費6億2,430万円, 他
支出金	2,480万1千円	減債基金積み立て経費2,494万円, 他

○特別会計 1億7,877万円

会計名	補正予算額	主な内容
国民健康保険事業勘定	△629万9千円	保険財政共同安定化事業拠出金△1,161万5千円, 他 退職被保険者等療養給付経費400万円, 一般被保険者高額療養経費341万9千円, 他
後期高齢者医療	△1,384万7千円	後期高齢者医療広域連合納付経費△1,633万5千円, 徴収費248万8千円, 他
介護保険保健事業勘定	3,997万円	介護従事者処遇改善臨時特例基金積立金1,065万2千円, 他
簡易水道事業	△345万1千円	県営中山間地域総合整備事業△268万2千円, 単独簡易水道施設整備事業△22万1千円, 他
飲料水供給施設事業	△333万7千円	施設維持管理経費△333万7千円
総合開発事業	1億6,550万円	井関地区総合開発整備事業1億6,497万円, 他

あなたの声を町政に

1問1答方式で行いました。
質問時間は1人30分です。

問 二期目の町政 どう舵を取る



橋本輝久議員

答 町の発展のため 基盤整備に取り組む

Q 町長は、二期目が集大成と言われるが、町政の舵取りをどうおこなうのか。

A 町長

一期目は、特に財政健全化に取り組んできた。その成果をあげたい。不転換の決意で取り組む。

また、CATV・井関団地事業など、町の発展

Q のため推進していく。地方公共団体といえども、企業経営団体としての意識をもつことが重要だ。

A 町長

職員は民間企業の厳しさ、心使いなど、肌で感じその経験を職務にいかしてほしい。

まさにそのとおりである。しかし、現在の経

Q 済状況では、民間企業が承諾するかが問題だ。取り組みたいが、今後の検討課題だ。

A 町長

医師・看護師と患者との信頼関係を築き、地域密着の医療体制を目指すべきでは。

保健福祉の拠点として、町内開業医との連携、訪問介護・診療、在宅医

Q 療の充実を図る。また、病院内に医療・福祉相談室を設置し、「かがやき」委員会を設け、地域に愛され信頼される病院をめざす。

A 町長

定額給付金は、すでに現金・振込みなどで支給が開始されている。本町では、町内消費

現金で、早急に支給すべ

Q きでは。

A 町長

4月中に支給できるよう準備を進めている。原則として、振込みで支給する。



まちづくり講演会

問 CATV 構想内容は



小川清治議員

答 平成23年7月開始に向け 取り組む

Q 町内情報の統一、情報格差の是正など、町の発展に欠かせない情報基盤整備事業調査設計の具体的内容は。

A 町長

公設民営方式とし、今年度は1億370万円の予算で電柱・ケーブルルート調査設計と事業申請を行う。

地デジ移行に間に合うよう、事業推進を図る。

Q 農業集落法人の組織化が困難な集落への対応は。

A 町長

中山間直接支払い制度の継続を国県に対し強く要望している。未法人集落対策は極めて難しいが、営農組合や集落などでの機械共同利用のコスト削減で営農継続を図る。

Q 不審火対策の取り組みは。

A 町長

消防団を中心とした防火啓発活動など実施しているが、決め手がない。

Q 犯人逮捕に繋がる情報へ懸賞金を考えては。

A 町長

関係当局と慎重に協議し対応する。

Q 町道の維持・補修は計画的にすべきでは。

A 建設課長

町道1,467路線、延長1,130km全路線の計画は出来ない。

主要路線については計画説明し公表する。

Q 長期総合計画の進捗状況は。

A 町長

長期総合計画は現在

2年目であり16%、新町建設計画は現在4年目であり37.5%の進捗状況である。



笠岡夢ネット

問 小規模農家の活性化対策を

丸山達夫議員



答 町独自の支援を検討

Q 小規模零細農家は独自に販路の開拓も出さず、直販所を頼りにしている。高齢化もすみ減少の一方である。

A 農家の活性化には、法人化の推進、大型事業の実施も必要であるが、手数料の割り戻し的な「直販所運営協力金」などの方法で、出荷量の減少防止を含めた対策をすべきでは。

Q 円弱となり、この事業は数少ない成功例の一つである。

A 高齢化の進捗で、生産供給体制の不安もある。しかし今後は売上げの伸びが期待できない。一つの規定を設け、出荷者に対し、町単独の助成も検討する。

Q ケーブルテレビのアンケイト結果と、設置に向けての考えは。

A 町長 68・6%の回収率で、総論では、財政状況を勘



油木百彩館

アンケート調査

Q9-1 「地域情報化基盤整備」に取り組むことをどのように思われますか。

番号	内容	件数	割合
0	未記入	107	3.9%
1	優先して取り組むべき。	799	29.3%
2	取り組むべきだが財政状況をみながら。	1,261	46.3%
3	取り組む必要はない。	168	6.2%
4	わからない。	368	13.5%
5	その他	23	0.8%

問 バイオマスタウン どう取り組む

寄定秀幸議員



答 早く準備をしたい

Q 地球温暖化防止策として、CO2(二酸化炭素)削減に向け世界各国は大きく舵を切った。

A 神石高原町版「ニューデール政策」として、本町の豊かな資源を活かし、木質バイオマス発電、木質チップボイラー、ペレットストーブなどへ取り組めば、雇用の創出と森林資源の有効活用、自然環境への貢献など多くのメリットがある。

Q ロジエクトチームを編成し、「バイオマスタウン構想」に積極的に取り組むべきでは。

A 町長 中山間地域の多くの資源の有効利用になるように、太陽光発電や畜産廃棄物のメタンガス化、木材などのペレット燃料など、可能性のある事業だが、未確定の部分も多くこれからの取り組みだと思ふ。

Q 国の第二次補正予算に対する考え方と本町の取り組みは。

A 町長 世界同時不況を打破するため、世界が同時に経済活動をしており、日本は遅れをとっていると認識している。



木質チップボイラー

75兆円の緊急経済対策の第2弾として総額4兆8,000億円の第二次補正予算が成立したことは高く評価できる。定額給付金は、一日も早く支給したい。

それ以外の補正予算に対しても、対応できるものは積極的に対応したい。

問 新年度予算への
想いは

木野山孝志議員



答 合併後初めての積極型予算

Q 新年度予算への想いは。目玉は何か。
A 町長 合併後初めて積極型予算を組んだ。義務的経費を押さえ投資的経費を15・9%増とした。当初予算にふさわしいと思う。目玉はその辺か。

Q 公債費負担適正化計画への影響は。
A 町長 借入金償還額の半分を超えることが予想される。

Q 町立病院勤務の元県職員給与への激変緩和措置の正当性は。
A 町長 地域医療を守るためには医療従事者の確保と信頼関係の構築が重要だ。財源は県からの交付金で対応する。

Q CATV事業の規模、業者選定は。
A 町長 慎重に調査を行い具体的金額を決定する。プレゼンテーションを行い早い時期に業者決定する。

Q 三和地区小学校統合計画の地元説明は、もっと具体的に教育効果を示せ。
A 教育長 ブレなくきっちりの方針を示す。具体例をあげ実例を取り入れながら、教育効果を最優先に対応する。事業費は10億円。財源は、国費・過疎債・義務教育債・基金で対応する。

Q 交流を通じて町の活性化を図るため「全

Q 国高原町サミット」を提唱したらどうか。
A 町長 今の時期に必要な相手が応じてくれるか、という慎重な意見もあるが、真摯に受け止め提案して行きたい。



高蓋小学習発表会

問 財政健全化は
どうする

佐伯卓師議員



答 2～3年先送りになる

Q 合併以来財政健全化に取り組んできたが、平成21年度より町立病院の開設、井関定住団地・CATV・三和小学校の建設と、大プロジェクトが白押しとなり、公債費負担適正化計画の見直しも必至となる。財政健全化が後退するのではないのか。また、将来にわたる町政の持続は可能か。
A 町長 21年度からの大型プロジェクトを、そのまま

予算に上乗せすることは無理だが、21年度は国の緊急経済対策と重なり、起債に頼らない予算確保が出来た。

22年度以降の予算編成は厳しくなり、公債費負担適正化計画が2～3年先送りになる。事業が確定次第、適正化計画を見直す。

Q 町民センター構想と、地域に特化した支所機能の基本的な考え方は。
A 町長 町民センター構想は、地域に特化した支所機能の基本的な考え方は、

Q 活動出来ない自治振興会への人的支援と、新しい施策も年度当初から取組みが出来る体制が必要では。
A 町長 自治振興会と連携を取りながら支援したい。

Q 早期に事業実施がで
A 副町長



自治振興会まちづくり講演会

きるよう、企画課で調整する。

問 耐震診断は必要か

藤田晃己議員



答 法的に必要だ

Q 豊松小・中学校の耐震診断、耐震実施計は、統合直前でもあり必要がないのでは。

A 教育長 学校は生徒が1日の大半を過ごす場所でもあり、非常時には避難場所でもあり、法律を遵守する必要があるので。

Q 来見小学校の再編は定住団地との整合性からして再検討すべきでは。

A 教育長 平成22年度には複式

Q 学級も想定され、26年度は40名を切る可能性がある。

A 男女児童比の課題や統合が遅れることによる子供の負担を考えれば統合の必要がある。

Q 集落支援員の活動内容。

A 企画課長 集落を定期的に巡回し、生活状況・農地・森林の状況の掌握に努める。

集落点検・話し合い・集落体制の推進をサポート

Q 該当集落と周辺地域での格差意識が生じないか。

A 企画課長 それは無いと思う。

Q 民生委員・農業委員・自治振興会役員との役割分担は、重複してもよいのか。

A 企画課長 それぞれの役員と重複してもよいと思う。

Q 支援員の候補者に町内出身の若者を選んでは。

Q 柔軟に考え検討する。

A 町長 柔軟に考え検討する。

Q 定額給付金は全額地域振興券での支給は出来ないか。

A 総務課長 国の指示であり、できない。

Q 井関定住団地の販売促進策は。

A 町長 地域を愛し、将来を考える方々と販売組織の設立を検討中。

Q 団地内へ町営住宅を考へては。

A 町長 今は考へてない。今後は柔軟に検討する。



豊松小学校

問 緊急的雇用対策は

村上克朗議員



答 担い手を育成確保

Q 新規就農者支援事業600万円が本町の景気回復の一役を担うのか。

A 町長 基幹産業である農林就業者は高齢化している。後継者不足の打開に向けては、地域農業の振興に期待している。

Q 別に国の施策で「農の雇用事業」9万7,000円の補助がある。

A この制度と二重にならないか。

Q 産業課長 国の施策は雇用主への助成であり重なる方もよいし、重なる方が効果が高い。

Q 井関定住団地整備事業と定額給付金事業は、ともに緊急的な景気浮揚対策と思う。セーフティバルブが効きすぎている感がある。

A 行政のスピードが必要では。

A 町長 井関団地造成は4月中には着手する。遅れる

ことはない。定額給付金は、できるだけ早く支給する。

Q 地域新エネルギービジョン策定事業に、どう取組むのか。

A 町長 本町にふさわしい新エネルギービジョンを提案し、国庫補助事業として取り組む。県下で三番目に手を上げたい。

Q 将来ビジョンを語る諮問機関である「夢」創造委員会の委員には今までにない、異業種

A の人を採用しては。

A 町長 委員数15名の内10名



バイオマス利活用の東城温泉

は公募、5名は町長選任とする。

問 井関開発の今後は



小林 貢議員

答 販売は新組織で

Q 造成から販売までの大役を担った組合が、僅か1年4ヶ月で解散した。町長の心境は。

A 町長
メンバーは会社の経営者であり、信頼して臨んだ。
なし崩し的に解散したのは、誰かがやるだろうという傍観者の人が殆どだったことが起因したと受け止めており、慚愧に耐えない。
世界同時不況で販売が極めて困難と思えるが、

Q 不動産でもあり、目減りするものではないので、好機がくる事を期待し、町が工事の総てを行う。計画上でのブランクも生じた。嚴重な顛末をすべきではないか。

A 町長
建設業界も大変な時期であることも考慮し、責任追及もしていないし、求める気もない。
Q 今後の事業推進は。

A 町長
販売は町で行うわけ

Q 町有地の木材利用・大工・左官業の仕事提供などあらゆる施策・アイデアなどを結集して取り組みたい。

A 町長
いつ新組織をつくるのか。

A 町長
なるべく早急にと

にいかないで、宅建業者・地域住民などに加え、専門的にやって頂く組織づくりを水面下で検討している。



井関開発入口の県道改良工事

問 一億円超の賃金にメスを



瀬尾征爾議員

答 削減の指示をして実行

Q 臨時職員の賃金については過去一回にわたってただしてきた。今までの答弁は「半減を目途にしたい」「前年度を上限度として削減する」とのことであったが、7千万円台、8千万円台と年々上昇し、21年度では1億600万円となっている。

A 町長
賃金も人件費であり、これにメスを入れるべきではないか。
何も指示しなかった

Q 農産物の安全・安心が脅かされている現状。

A 町長
行財政健全化改革は必要であり、県の指導がなくても独自で策定する。

Q 行財政健全化計画が21年度で終る。新計画の策定は。

A 町長
計画を立て、今年はこれで行くという指示が必要だ。私が指示をだしそれを実行する。

Q 在、無農薬栽培、有機農業が脚光を浴びている。国も法律を制定し、基本方針を策定、主要施策を決定している。これに呼応し、町としての条件整備が必要では。

A 町長
有機農業者の芽を将来に向けて成長を促すような施策を実行したい。特に小規模集落での推進が有効と思う。



春を呼ぶ福寿草

問 財政基盤の確立は

松本彰夫議員

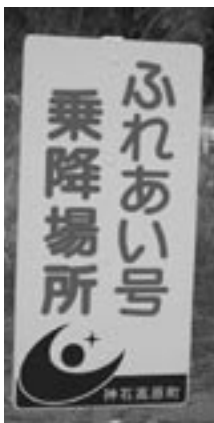


答 財政健全化に取り組む

Q 国の緊急経済対策に
 応じて、景気対策に
 取り組めば、その結果、
 借金が增える。
A 本年度予算では、自主
 財源が、8・4%減少し、
 町税も1・3%減少して
 いる。財政基盤を、どう
 確立するのか。
A 町長
 引き続き財政基盤の
 確立に取り組む。国も2
 (3年は地方に厚い政策
 をとると思うのでその間
 に、大きい事業に取り組
 みたい。

Q 新交通システムにつ
 いて、ふれあい号の
 停留所まで出られない人
 の対策は。
A 企画課長
 タクシーチケットを
 使って出てもらうか、雇
 用対策として、輸送対策
 ができないか検討してい
 る。
Q ケーブルテレビは、
 加入の促進が大切だ
 が、具体的な説明会の取
 り組みは。
A 企画課長
 業者の選定を行い、

Q 長時間保育など、保
 育所の充実が望まれ
 ているが、保育士の増員
 が必要である。臨時職員
 では来人もいない。町
 職員の保育士を採用すべ
 きでは。
A 副町長
 指定管理者による運
 営も言われているが、保
 護者との同意も必要であ
 るし、これは検討課題で
 ある。保育士の採用につ



停留所の看板



ふれあい号

いて、必要な場合は検討
 する。

問 学校統合を急げ

片山元八郎議員



答 平成23年度統合へ全力

Q 統合小学校(三和地
 区の4校)建設予算
 を計上しない理由は。
A 町長
 補正予算でも対応で
 きる。住民すべて賛成で
 なく、対立はさげたい。
Q 計画策定までの経緯
 は。
A 教育長
 平成18年、19名の委
 員で学校再配置検討委員
 会を設置。答申を受け、
 19年9月、基本方針策定。
 三和地区は16回の住民説
 明会を開催。

Q 計画が前進しない原
 因は何か。
A 教育長
 来見小学校の児童進
 計が、19年当時は「複式
 学級」になるとの状況判
 断でなかった。団地開発
 構想もからみ、教育委員
 会としても、ブレが生じ
 た。説明会で「統合反
 対」の声が大きければ、
 統合推進に理解を示す声
 を充分反映できなかった
 こともある。説明不足を
 反省し、合意に向け努力
 する。

Q 統合推進への予定
 は。
A 教育長
 議会終了後、三和4
 小学校区で説明会を開催
 する。平成23年度統合へ
 向け、全力を傾ける。
Q 団地開発と教育問題
 は分離すべきでは。
A 教育長
 19年当時の来見小学
 校児童数推計と現時点で
 は、違ってきた。出生数
 より流出人口が増えてい
 る。教育的配慮を優先
 し、団地開発とは分けて

考えたい。
Q 町長は、
 団地開発
 にあらゆる施
 策を講じると
 述べたが、統
 合問題もから
 めるのか。
A 町長
 教育問
 題とは、分離
 すべきと考え
 る。



三和小学校

りました

町有各施設 指定管理者の指定

賛成多数

- 29集会施設と1農村公園を各自治振興会に指定管理(新設)
- 産業課15施設、その他5施設を各団体に指定管理(更新)

県から病院関連の土地、 建物、構築物を贈与

賛成多数

評価額

- 土地7,600万円
 - 建物7億1,500万円
 - 構築物1,700万円
- 相当の贈与を受ける
☆10年間の指定用途、譲渡負担付き

行政機構改正

賛成多数

- ◎企画課→企画財政課
- ◎病院対策室→病院事業室

議員発議

神石高原町議会議員の 議員報酬削減

決否

賛成5反対8

- 提案者：瀬尾征爾
賛成者：小林 貢
◎議員報酬を1年間5%削減

神石高原町地域医療を見守る 特別委員会を設置する

賛成多数

- 提案者：松本彰夫
賛成者：木野山孝志
◎名称：神石高原町地域医療を見守る特別委員会
委員長：松本彰夫
副委員長：木野山孝志

問 新規就農者支援は

横尾正文議員



答 意欲のある方を歓迎

Q 新規就農者支援事業の実施は、大変良いことだ。しかし、支援規模や内容を充実させなければ、新規就農希望者が期待できない。また、若者定着につながらない。もっとソフト・ハード両面で支援が出来ないか。

①ソフト面
○新規就農者の農業体験支援と受け入れ体制支援など。

②ハード面
○支援金の充実と年数の延長、

A 町長
内部要因としては、後継者・定住対策、外部要因としては、雇用対策として考えた。町の単独事業なので、大々的とはいかないが、初めての試みなので期待している。農業体験のない人には、集落法人などに就職

Q 住宅・農地の安価での貸出、貸与支援などの具体的策は。

A 町長
提供、
○農業機械などの安価での貸出、貸与支援などの具体的策は。

している。経験者には、既存の補助金事業を利用してもらい定住につなげたい。また、支援金の充実、年数の延長や宅地・農地の安価での提供も考える。

Q 募集方法は。

A 産業課長
ホームページや広報などを活用する。すでに問い合わせが数件来ている。農業法人の関係者にも具体的な説明をする。



トラクターによる農作業

Q 町内在住者で、農業を本格的にやりたい兼業農家も対象になるのか。

A 町長
あまり厳格化せず、意欲のある方を歓迎したい。

条例制定・改正 こんなことが決ま

条例制定

こども医療費支給

賛成多数

小学校1年生から中学校3年生までの児童生徒の医療費助成。
保護者一部負担額は
◎入院の場合月14日を限度に1日500円
◎外来の場合月4日を限度に1日500円
これを超える医療費について町が助成する。(所得制限なし。)

介護従事者処遇改善 臨時特例基金の積立

賛成多数

保険料上昇分の半額が交付され基金に積立、保険料軽減のための財源・啓発等に充てる。
…1,000万円

町営バス運行開始

賛成多数

中国バス路線廃止などにより、町営バス9路線でスタート
乗車料金⇒300円

源流の里条例による地域支援

賛成多数

20戸未満高齢化率60%以上、10戸未満高齢化率50%以上の49地域432戸が対象で、集落支援員10人が巡回支援

町立病院運営資金貸し付け

賛成多数

安定経営確保と医療体制整備充実のため1億円を1年間年2.2%の利率で社会医療法人社団陽正会に貸し付け。

町職員の派遣

賛成多数

県立病院の医師を町職員として社会医療法人社団陽正会へ派遣

条例改正

総合開発事業 特別会計の設置

賛成多数

井関地域総合開発整備事業が直営に。

特別職非常勤の 報酬増額と新設

賛成多数

○公民館長報酬(月額)
128,000円⇒150,000円(勤務;4日⇒5日/週)
○新設
集落支援員…120,000円(月額)
夢創造委員会委員…50,000円(年額)
学校薬剤師…50,000円(年額)

人件費削減の継続

賛成多数

町長…12%
副町長…10%
教育長…10%それぞれ削減
<平成22年3月31日まで>
職員…1.8%~4.8%それぞれ削減
<平成22年3月31日まで>

介護保険料率の増

賛成多数

月額311円~934円それぞれ負担増
<平成21~23年度まで>

和牛の里総合整備事業

賛成多数

事業費の30%を利用者が負担

過疎地域 自立促進計画を変更

賛成多数

○神石牧地区整備事業
○CATV整備事業 } 追加

CATV事業 地元企業による事業展開は可能か

調査研究目的

ケーブルテレビの利用料をいかに安くできるか。

町内での起業による雇用の場の創出・若者定住など、神石高原町における活性化の一助に資すること。

調査研究日

2月24日(火)

調査研究場所

○岡山県笠岡市 大井ハイランド町内会
○笠岡放送株式会社(ゆめ☆ネット)岡山県笠岡市

参加者

議会議員全員・議会議務局長・事務局書記

調査研究結果

笠岡市 大井ハイランド町内会
リモコンの簡単な操作で公共の情報(デジタルデータ放送)が得られる。笠岡放送株式会社(ゆめ☆ネット)

笠岡放送(株)本社にて、編集設備・放送設備など調査。

可能性

＊有線テレビジョン放送に限定すれば、地元民間企業による経営が可能。

問題点

＊設備・機器の更新。情報機器は高価で進歩が早い。
＊インターネットサービスには専門の社員が必要。また通信事業の認可が必要

◇CATV事業導入にあたって

＊国の補助には、条件が多く、無駄と思われる投資で、機材の更新も自由にならない。

＊導入に当たっては必要最低限の設計から始めるべきである。

＊23年7月から放送を開始すべきである。



笠岡夢ネット研修

町立病院の 医療体制の確立と 安定運営をめざして

調査研究目的

4月1日開設予定の「神石高原町立病院」経営における、財政負担及び指定管理者制度による管理の現状と問題点などについて、先進事例を調査研究し、本町における医療体制の確立と長期安定の医療の供給に資する。

日時

1月20日～22日

調査研究場所

○市立大村市民病院
大村市役所・大村市議会(長崎県大村市)
○公立新小浜病院
雲仙・南島原保健組合(長崎県雲仙市小浜町)

参加者

町長・町議会議員全員・議会議務局長

まとめ

1) お互いに「公的病院経営」の責任として地域医療を長期的に安定・確保するために「指定管理者制度」をとりいれている。1市・1組合を視察した。

2) 所有者及び指定管理者がともに黒字体制となるよう努力すること。

神石高原町立病院は公的医療機関としての責任

を持っている。総合的な医療の提供が必要であり、全ての不採算部門の切捨ては出来ない。病診連携など医療機関どうしや介護施設との連携体制の確保が必要である。

3) 所有者及び指定管理者の信頼関係の構築が重要である。長期的な視野に立ち医療体系を整備すべきである。

★財政の健全化のためさらに検討すべき事項。

①赤字補填について、具体的に定めること。
②財政支援について、交付金の限度額を定めること。
③一時貸付金については本町の財政状況を充分勘案し決定すること。

④寄宿舎の利用・管理規定を定めること。
⑤給与の激変緩和措置については、県と病院側の検討課題である。

⑥減価償却費負担の検討。
⑦県からの病院移管交付金は、基金条例を定め計画的な基金積立を講じる事。

追跡

ありやあどうなった？

一年前の主要事業が、今はどうなっているか？追跡しました

和牛の里 1年前ののどかな風景



神石高原和牛の里団地

大正7年に広島県種畜場として設立された、広島牛改良センターは、平成20年4月、県から町に移譲されました。町は、平成20年度当初予算で144万円の管理経費を計上し「神石高原和牛の里」として開発することになりました。

今はこうなっています

草地林地一体利用総合整備事業にて整備中



元気に育つ繁殖牛



牛舎、堆肥舎予定地

7月1日から農事組合法人「神石高原和牛の里」が指定管理者となり既存牛舎の一部で和牛飼育と牧草地の管理、収穫を行っています。また、全農広島は既存牛舎を改造して繁殖和牛102頭を飼育しています。

町では、神石高原和牛の里での和牛増頭に向けて、国の補助事業である草地林地一体的利用総合整備に取り組んでいます。平成20年度では、総事業費2,462万円で、牛舎・堆肥舎の敷地造成、放牧地の整備、草地の改良を行いました。平成21年度では、総事業費1億2,204万円で、牛舎1棟、堆肥舎1棟、牧場用機械2台を導入する計画です。これにより、農事組合法人では60頭飼育を目指しています。

また、旧広島牛改良センターは、大正7年に広島県種畜場として設立され、長い歴史を持っています。その一部を和牛記念館として、受精卵移植棟1階に展示してあります。自由に見学できますので、足を運んでみてください。

元気なグループ紹介



仙養東自治振興会・忠原班の有志

「里山会」
さとやま

伐採した竹や木を利用した炭焼きを行うことで、環境の保全・地域活性化やふれあいの場にと、平成18年「里山会」を結成。

昔を思い出しながら2か月かけての窯作り。

「自然を守り、活用するのが魅力」「町内の子供や福山近郊の子供たちにも炭焼き体験をさせてあげたい」「地球にやさしい炭を皆さんに使っていただきたい」と、夢は広がる。みんな笑顔で次の窯入れに力がこもる。

第1回 議会クイズ

《クイズ》

空欄に適切な言葉を入れてください。

①平成21年度一般会計予算99億円前年対比〇〇増し

②愛され信頼される病院づくりに取りくむ「〇〇〇」委員会

③新生活交通〇〇〇〇号

④〇〇〇〇条例による地域支援

⑤議員全員によるCATV事業調査研究先は〇〇〇〇株式会社

《ヒント》

議会広報をよく読めば解ります。

《応募方法》

はがきに「こたえ・住所・氏名(ふりがな)・年齢」を記入してください。

議会への要望・意見等も書いてください。「まちの声」で、でき

るだけ紹介いたします。

正解者多数の場合は抽選で5名の方に

1,000円分のやまなみ商品券をお送りいたします。

《あて先》

〒720-1522

神石高原町小島二〇五

神石高原町議会事務局

「第1回議会クイズ係宛」

《しめきり》

5月8日 消印有効

今号より議会クイズを始めました。多数、御応募ください。

《個人情報の取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報、賞品発送および「まちの声」等の目的以外には利用いたしません。

編集後記

突然の雪景色、「春を待つ」3月定例会。

まちづくりの、熱き想いをおつけた総括質問。

1問1答、火花散る真剣勝負の事項別質問。

定額給付金が待ち遠しい、国の第2次補正。

100年に1度という経済危機で、沈みがちな日本列島を歓喜の笑顔に包んだWBC2連覇。

見事な投球で日本を救った岩隈投手、あっぱれイチロー選手、心を一つに戦った侍ジャパン。

ありがとう、日本野球。春爛漫の頃、皆さんの

お手元に届く議会広報、一人でも多くの方に読んでいただけるよう、今回から新企画でスタート。

ご愛読よろしくお願います。

— 寄 —



春爛漫